

クイックシート [組込式] 溶融タイプ 施工手順



グラウンドサイン & グラウンドデザイン
SANKO
サンコー企画株式会社

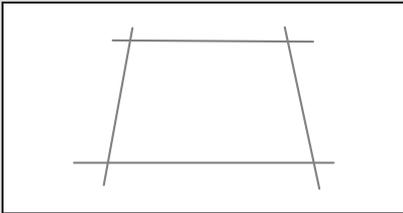
■施工方法

QRコードからシート施工動画がご覧になれます。

1 位置決め

設置位置を決め、作図します。

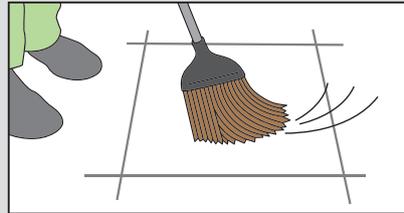
レイアウト図が入っている場合は、図にしたがって展開してください。



2 清掃

ほうき等で設置面の清掃をします。

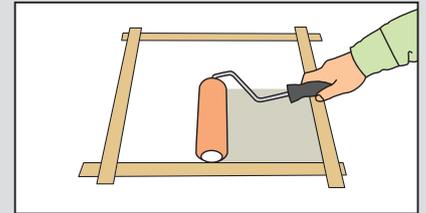
水分やゴミ・汚れ等を十分に取り除きます。凹部分は念入りに清掃を行ってください。設置面が濡れている場合は施工できません。



3 プライマー 塗布・乾燥

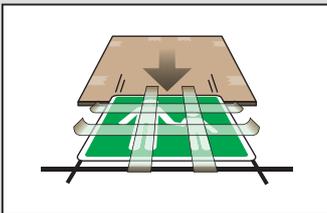
専用プライマーを設置面凹部まで薄く均一に塗布し、指で触れても“付着しなくなるまで”十分に乾燥させます。

塗りすぎ・乾燥が足りないと剥がれの原因となります。



4 設置

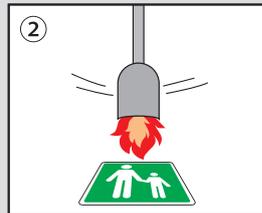
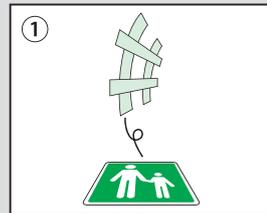
“シート表面の保護テープは貼ったまま”周りのダンボールに貼りついた部分のみを剥がし、“そっと滑らせるように”設置位置に置いて下さい。



5 加熱・溶融

設置後、シート表面の保護テープを剥がし(図①)、弱火でシート全体を設置面になじませるようにあぶります(図②)。

全体がなじんだら中火で、シート表面に“気泡が沸くまで”まんべんなくあぶります。とくにエッジ部分は十分にあぶってください。



6 施工完了

溶融後設置面とシートが接着していることを確認します。施工完了後、十分に冷却時間をおいて下さい。

設置面とシートの間に隙間があると、浸水し剥がれる恐れがあります。



加熱直後にガラスビーズを散布すると汚れ防止、防滑効果が期待できます。更なる防滑効果が必要な場合はシリカ、珪砂などの散布を推奨します。

■施工の注意点

- 設置面に水分が残っていたり、ゴミやホコリ、油分などの汚れが付着している場合は剥がれの原因になります。十分に乾燥、清掃を行ってください。
- 施工時の外気温が低いとき(気温10℃以下)は、ガスバーナーなどで設置面の温度を40℃程度になるまで加熱してください。
- シートは、施工直前まで直射日光を避け涼しい所に立掛厳禁で保管ください。
- 施工直後、タイヤ痕がつきやすいため、施工後に水をかけるなど路面温度を下げてから交通開放してください。
- コンクリート面への施工をする場合、コンクリートに含まれる水分によりシートに大きなピンホールが出来る可能性があります。

- 専用プライマーに記載されている注意書きを必ずお読みください。
- 設置面の適合性・接着性を十分にご確認ください。
- 設置面に凍結防止剤が残留している場合、必ず除去してください。
- シートは、施工直前まで直射日光を避け涼しい所に立掛厳禁で保管ください。
- バーナー使用時は火気に十分ご注意ください。

■施工場所の注意点

※下記の場所については施工を避けてください。

- 水没する場所。(雨が降ると水たまりになる場所など)
- 設置面に亀裂が入っている場所。
- コンクリート新設舗装から3ヶ月以内の設置面。表面のレイトランスにより接着性を損ねる原因になります。
- 設置面に防水・撥水塗装がされている場所。
- アスファルト打設直後の設置面。
- 設置面の凸凹が激しい場所。(アスファルト・コンクリート路面が劣化している場所など。)

- 施工後は設置面の原状復帰はできかねますのでご注意ください。
- 公道への施工は道路管理者の許可が必要です。

- その他、設置面に関して、ご質問がございましたら、当社までお問い合わせください。

※裏面に「あぶり方のポイント」・「プライマー塗布の注意点」等が記載されておりますので必ずお読みください。

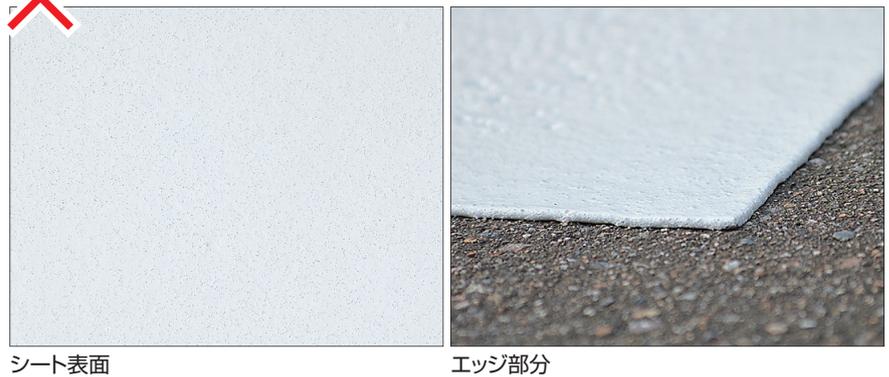
■あぶり方のポイント

加熱度合いによるシートの変化 (路面がアスファルトの場合)

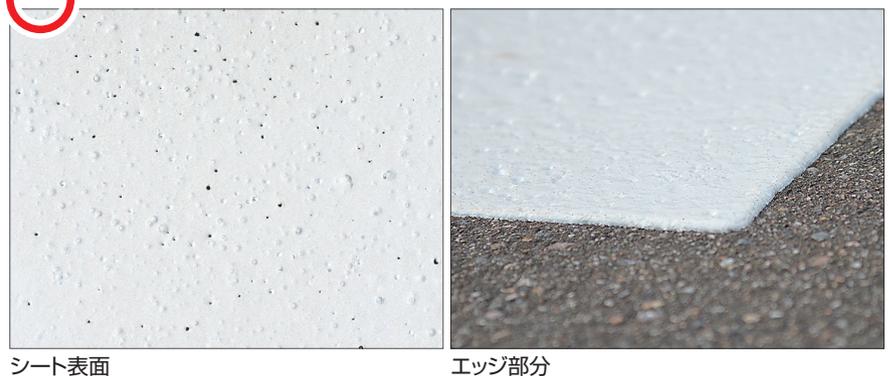
加熱度合い	シートの状態
<p>弱</p> <p>最適</p>	表面の状態：路面になじむ 接 着 性：接着していない
	表面の状態：小さな気泡ができる 接 着 性：不十分
	表面の状態：小さな気泡が複数できシートに穴が空く 接 着 性： 十分

加熱不十分と加熱十分の違い

✗ 加熱不十分 シートに穴が開いていない。



○ 加熱十分 いくつもの小さな気泡ができシートに穴が空く。



施工完了後にシートと路面の間に隙間がないか、ご確認ください。

■プライマー塗布の注意点

設置面	経年・路面状態	下地処理方法	注意事項
アスファルト	施工直後	清掃後 プライマー塗布しない	
	施工後1日～1週間	清掃後 プライマー塗布	塗布量はごく少量とする
	施工後1週間以降	清掃後 プライマー塗布	
コンクリート	施工後3か月未満	原則として施工しない	新設コンクリートは施工不可
	施工後3か月以降～6か月以内	表面を研磨後 清掃・プライマー塗布	プライマーの吸い込み状況により何度が塗布
	施工後6か月以降	表面を研磨後 清掃・プライマー塗布	
インターロッキング	コンクリート系	清掃後 プライマー塗布	
	陶板系	清掃後 プライマー塗布	

■保管方法

- 直射日光、水漏れ、高温、低温、多湿を避け、火気のない屋内で保管してください。
- 立掛厳禁で、平らな場所に平置きで保管ください。
- 製品を変形させて保管しないでください。

■免責事項

- 第三者の故意、過失による不具合、天災、地盤や周辺環境に起因する製品の損傷、不具合。
- 経年劣化による汚れ、摩耗による製品の劣化や剥離。
- 万一、材料に起因する不都合が生じた場合は、材料のみ代替え提供いたします。二次的損害については、保証いたしかねますのでご了承ください。
- 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不都合による損害・損失。

■廃棄方法

- 本製品を廃棄する際は、各自治体の条例に従い、適切に処理してください。